

日清食品ホールディングス株式会社

<https://www.nissin.com/jp/sustainability/>



《将来に向けた取組方針》

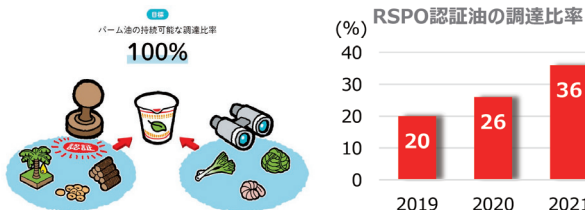
日清食品グループは、2020年に策定した環境戦略「EARTH FOOD CHALLENGE 2030」にて、森林破壊防止や生物多様性保全などに配慮した「地球に優しい調達」に関する目標を設定しています。さらに2022年、自然資本や生物多様性の減少をプラスに回復させる「ネイチャーポジティブ (Nature Positive)」に向けた活動を推進するとともに、2050年までにCO₂の排出量と吸収量を「プラスマイナスゼロ」にする「カーボンニュートラル」の達成を目指すことを宣言しました。日清食品グループは、生物多様性と気候変動の両方に取り組みながら、自然資本を増やすビジネスモデルへの転換を進めていきます。



〈具体的な取組事例〉

■ パーム油の持続可能な調達

日清食品グループは、生物多様性に関連する目標として、「持続可能であると判断できるパーム油調達の比率を、2030年度までにグループ全体で100%にする」ことを掲げています。また、「森林破壊ゼロ」の方針を遵守するため、搾油工場（ミル）のトレーサビリティの確保や、衛星モニタリングツールを活用した森林破壊リスクの分析などを行っています。



〈今後に向けて〉

主要事業における生物多様性の影響評価を進め、特に自然資本への依存・影響の度合いが高いエリア・事業活動を科学的に特定していきます。

また、ネイチャーポジティブの実現に向けて、製品に使用する植物性食品の割合拡大や、原材料に関する環境負荷の低減、生産工程で廃棄される食材のアップサイクルによる資源の有効活用、即席麺の製造に使用するパーム油の生産地における森林再生活動などに取り組んでいきます。

〈社会に向けたメッセージ〉

日清食品グループは、気候変動対策に加え、生物多様性の保全と回復を重要な経営課題に位置付け、これからも持続可能な社会の実現に努めていきます。